

■活動内容

- ・お茶の間カフェ(居場所)の開設・・・誰もが出かけてきて好きな事の出来る場の提供。昼間見守りの必要とする高齢者の見守り。毎週月・水・金曜日13時～16時。イベント、お出かけの開催。利用料:100円
- ・手助けボランティア・・・日常生活の中で手助けのいる支援。地域の中で安心して生活の出来る見守りの支援。
- ・福祉講演会の開催・・・年2回。区民対象の講演会を開催(認知症、介護保険等)(地域全体の福祉の向上をめざす)
- ・区民の介護予防活動・・・出前講座の開催。認知症予防・体操・体力測定・血圧の管理等を実施し、各人の健康意識の向上をめざす。



■団体名 野一色みまもりたい

■参加者 地域住民

■活動拠点
連絡先 米原市野一色483(野一色会館)
代表者:西堀 正次
TEL:0749-55-1324



■活動のきっかけ・実現までの経緯

野一色みまもりたいは、H25年度米原市お茶の間創造事業モデル団体として登録され、活動は6年目を迎えます。誰もが出かけてきて好きなことのできる場の提供として、昼間見守りを必要とする高齢者の見守りを積極的に行っています。

医療・福祉等の資格を持つスタッフを中心として、高齢者の血圧測定を行い体調を管理したり、ラジオ体操等を行い健康の維持に努めています。又、様々な特技を持ったスタッフは、その技術を生かし生活の支援を行っています。

また、地域全体の福祉向上を目指すため、区民を対象とした認知症や介護保険等に関する講演会を開催しています。



利用者さんの声

- ・地域の中に居場所があると安心です。本当にありがたい。
- ・畑もしているが、この時間は空けている。
- ・家で一人であるより、居場所でみんなとおしゃべりするのが楽しい。コーヒー・紅茶も美味しい。
- ・茶摘み、七夕、夏祭り、桜狩り、紅葉狩り等のお出かけ、草餅、牡丹餅、お雑煮等々、季節に応じたイベントは、季節を肌で感じ、皆で行けるのが楽しみです。
- ・困ったことがあれば、気楽に相談でき、助けてもらえて助かってます。

活動者の声

- ☆体操、血圧測定等を実施することにより、利用者さんが自分の体調を確認され、体力維持ができ健康寿命も延びています。
- ☆カフェに来られている方々がとても活発になられ、外出することへの抵抗感がなくなってきています。
- ☆地域の中でお茶の間活動についての好感度が高まり、協力を得られるようになってきています。
- ☆認知症等の学習をすることにより、利用者さん同志のお互いの「思いやり」も増し、優しい居場所になっています。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

運営にあたっては、市のお茶の間創造事業補助金を活用するとともに、カフェ等の利用料を活用しています。区民の皆さんとスタッフと一緒に地域のつながりを今後も深めていきたいです。困ったとき、何かあったとき、「気軽にたのめる」存在としてありたいと考えています。この活動が長く続くために、自分たちのカラー、地域のカラーを大事にしなが、できる範囲のことを行っていききたいです。